

## 象さんの素敵な生活

クリスティーネ・ネストリンガー／作  
松島富美代／訳 荒井良二／絵

赤い風船に思い出を吹き込み、静かに平和に暮らすことにした象さん。でも、友達の鴨さんに新しい思い出を作るように言われ、町に出かけますが…。あなたにとっての「素敵な生活」とは何かを考えさせてくれる象と鴨の友情物語です。かわいい挿絵とともにお楽しみください。



ほるぷ出版(1997年)  
本体価格1400円+税

## モリー先生との火曜日

普及版

ミッチ・アルボム／著 別宮貞徳／訳

難病ALS（筋萎縮性側索硬化症）に冒され、死の床にいる恩師から「人生の意味」について授業を受ける。優しさに溢れたノンフィクション作品。モリー先生から豊かな人生の生き方を学べます。

※1998年版も所蔵しています。



日本放送出版協会(2004年)  
本体価格950円+税

## ぼくと1ルピーの神様

ヴィカス・スワラップ／著 子安亜弥／訳

貧民街の少年はなぜ賞金を勝ち取ることが出来たのか？警察は彼を逮捕するが、答えは彼の過去にこそあった。貧困、性問題、家庭暴力、差別、犯罪などインド社会の暗部をしたたかに生き抜いた少年の物語。



ランダムハウス講談社(2006年)  
本体価格1900円+税

実用書

## 怖い絵

中野京子／著

あなたは絵に何を求めるだろう？…温かさ？鮮やかさ？それとも、精密さ？はっきり言って、穏やかな絵を好む人には、この本はおススメできません。ここに集められた怖い絵たちが何故に描かれたのか。その歴史背景や画家たちの本質を知り得る本です。芸術書ではあるけれど、哲学も学べます。

※全3巻。



朝日出版社(2007年～)  
本体価格1800円+税